

一

問一 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部①と傍線部②の間を読むと、パンをうまく焼けなかったこと、明日のハイキングのために何とかしたいと思っていることがわかります。

問二 心情理解の問題です。傍線部②の前の「秋美」と「わたし」のやりとりから、「笹子」にサンドイッチの作り方を教わりたい気持ちがわかります。傍線部②の前の「秋美ちゃんは～自覚しているからか。」の部分から、生意気なことを言って申し訳なく思う気持ちがわかります。「ア」を選んだ人が多かったですが、サンドイッチの作り方を教わるのが決まったのは傍線部②の後であり、謝礼について本文ではふれられていません。

問三 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部②の前の『「ハイキングに～焼いたんだよね?」』「頷くが、まだ黙り込んでしまう。」の部分から、「川端さん」つまり「勇」からパンの焼き方を教わったが、パンをうまく焼けなかったことがわかります。「ア」「エ」を選ぶ人が多かったですが、自分なりに工夫したかどうかは本文ではふれられていません。また、初めからサンドイッチをつくらうとしたわけではありません。

問四 言葉のきまりの問題です。正答率が2割を切る問題で、苦手な受験生が非常に多いようです。「膨らみ」は動きを表す言葉が主語になる言葉に変化した言葉です。「ア」を選ぶ人が多かったですが、「ほほえみながら」の「ほほえみ」は動きを表す言葉です。

問五 語句の知識を問う問題です。「はにかむ」は恥ずかしそうな表情をするという意味です。「イ」を選ぶ人が多くいました。

問六 空欄にあてはまる言葉を選ぶ問題です。空欄Aの直前や文章の最後の場面などから、皆でパンを食べていること、「競争」ではなく「パンを食べくらべる」ことになったことがわかります。

問七 空欄にあてはまる言葉を選ぶ問題です。空欄Bの前後の「秋美」と「真理奈」の様子から、どのようなものをつくるのか興味を持っていることがわかります。

問八 空欄にあてはまる言葉を選ぶ問題です。空欄Dの直後から、食パンの内側と外側をどのように使うのかを読み取ります。

問九 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部の周辺だけではなく、本文全体に目を向けて考えましょう。本文全体から、友達やその家族たちのことを考えて努力してサンドイッチを作ったこと、彼らと一緒にそのサンドイッチを食べたことがわかります。

問十 本文をふまえて具体例を書く問題です。問九で読み取ったことやハイキングの目的地で食べていることをふまえて、自分の体験から適切な具体例をあげてまとめます。具体例としては「スキー」「運動会」、「試験の日のお弁当」などが考えられます。

二

問一 本を読むのが苦手な「コルビー」少年が、ブック・バディの活動に参加して、どう変わったかを時間に沿って選ぶ問題です。スタートを「ア」にした人が多かったですが、読み

聞かせの「研修」に参加したわけではないので、丁寧に読むように気を付けましょう。

問二 「嬉しい驚き」を具体的に考える問題です。ブック・バディの活動は、コルビーにとってだけでなく、ARL（シェルター）側にも、家庭に引き取られる猫が増えるという嬉しい結果をもたらしました。

問三 「いる」の働きを問う文法問題です。正答率が6割を切る問題で、苦手な受験生が多いようです。「b」は直前の「されて」という言葉を補助する働きを持っています。それ以外に選択肢は、すべて「いる」=存在している、という意味を表しています。言葉の使い方、働きも注意深く学ぶよう心がけましょう。

問四 読み聞かせによる犬たちの変化を読み取る問題です。問二と同様に、犬たちも家庭に引き取られるチャンスが増えたという流れが読めれば、それに要する「日数が短くなった」という「イ」が選べます。

問五 3人の中学生による対話形式の問題です。獣医学大学で行われた研究について、「目的」を理解し、「方法」を整理し、自分たちで「仮説」を立て、結果に対して「考察」を加えるという一連の流れに沿ってまとめます。正答率が6割の問題で、やや難しく感じた人が多いようです。このスタイルの設問では、問題文を読むことに加えて、対話の流れに合わせて考えることが求められます。研究の手順をよく確認し、設問に対応するように、前後の会話文につながる形で言葉をぬき出したり、文章をまとめたりしてください。研究の趣旨をよく把握して、自分なりにまとめている答案もたくさんありました。

問六 文章の見出しをつける問題です。ここでは、猫たちが「人に慣れ、人とかわれるようになること（社会化）」がテーマになっている部分なので、そのことに気づけば「エ」が選べます。正答率が6割を切っており、やや難しめの問題でしたが、普段から段落分けをしたときに、見出しをつける練習をしておくといいでしょう。

問七 二か所の空欄に共通してあてはまる言葉を選ぶ問題です。一つ目は声の様子、二つ目は動きの様子が描かれています。語感を問う設問で、大変よく出来ていました。

問八 筆者が「ケネディ」の読み聞かせの中で、どのような行動に感銘を受けたかを考えましょう。自分の弱さを乗り越えたり、自分より猫の心地よさを優先したりという行動も大切ですが、健康な猫だけでなく、病気によって引き取られる可能性の低い猫たち、弱いものをいたわる気持ちに心を揺さぶられた点に注目してほしいです。

問九 「ウィン・ウィン」の意味は、動物への読み聞かせを通して、子供たちの読書力が向上し、動物たちの譲渡率も上がるということです。その両方を満たしている(4)が正解です。正答率が8割以上で、文脈をしっかりと理解できていました。

三

全体の正答率は8割近く、しっかり漢字練習をしている感じが感じられました。「溢満」、「恩議」などの間違いが目立ちました。また、「照合」は「称号」、「証合」などの間違いが多かったです。特に同音異義語などは、意味の違いに注意して練習しましょう。